



2012年9月19日

通巻 1192 号

発行：金沢大学教職員組合執行委員会
〒920-1192 金沢市角間町
076-262-6009 角間内線2105
E-MAIL kanazawa@ku-union.org



電気のない暮らし 合衆国ペンシルバニア州 「アーミッシュランド」を訪ねて 大藪 加奈 (外国語教育研究センター)

節電を意識したこの夏、どうすれば電気を使わずに暮せるか考えた人も多かったのでは？ 先進国では電気がない生活はあり得ない、と思う人もあるでしょうが、アメリカ合衆国とカナダには、電気のない暮らしを続けている人々がいます。「アーミッシュの人々」スイスから250年程前に移住した再洗礼派キリスト教徒の子孫です。彼らは電気を使わず、自動車も持たず、自分たちの生活様式を維持しています。今回は、「アーミッシュランド」として有名な合衆国東部ペンシルバニア州ランカスター郡とアーミッシュの人々の生活を紹介します。

ランカスター郡には、多くのアーミッシュの人々が住んでいます。彼らは、一般アメリカ人に混じって暮していますので、孤立したコミュニティーを形成している訳ではありません。家に電線がひかれていないのがアーミッシュの人々の住まいで、庭先には彼らが移動に使う幌つき馬車やキックボードが置かれています。アーミッシュ人口が多いインターフォース町周辺では、自動車がビュンビュンとおる道を馬車も駆け抜けていきます。アーミッシュの人々は、いわゆる先進国の生活を知っていますが、そうではない自分たちの暮らしを選んでいるのです。

アーミッシュの人々の姿は、まるで昔のアメリカを舞台にした映画の登場人物のようです。女性は紺や青紫などの寒色を多用したロング丈のワンピースにエプロンをし、頭には髪を被うポンネットをかぶります。男性は麦わら帽子、寒色系のシャツにサスペンダーとズボン(夏)、またはシルクハットとフロックコート(冬)です。

一見すると、アーミッシュの人々の生活様式も、全く昔風に見えます。ランカスター郡では農業を営むアーミッシュ家庭が一般的ですが、耕作はトラクターを使わず馬と鋤でします。もちろん家にはテレビもラジオもコンピュータもなければ、電子レンジも食器洗い機も電動芝刈り機もありませんので、およそ一般的なアメリカ人家庭とはかけ離れています。このように書くと無いものばかりのようですが、家に招かれて得た印象は「豊かさ」です。手作業で作られた重厚な家具、足踏みミシンや手縫いで丁寧に仕上げられた服やキルトのカバー、おいしい手作りのレモンスカッシュやビスケット。アーミッシュの昔ながらの生活や田園風景に憧れを抱くアメリカ人観光客は多く、町の周辺にはお土産屋さんやアーミッシュ文化や生活スタイルを紹介する施設もいくつかありました。観光客に人気なのは、古き良きアメリカのホームメイドパイ、瓶詰め野菜やお肉・ジャムなどの保存食品、そして手縫いキルトのベッドカバーなどだそうです。



▲高いサイロが特徴的な
アーミッシュ農家とバギー(馬車)



▲バギーは走る(インターフォースの町中)

アーミッシュの人々は、自分たちの生活や文化を変える可能性のあるモノの導入に慎重です。彼らが大切にしている「人と自然の関係」や、「コミュニティーの絆」を壊す危険性のあるモノは、導入するかどうかコミュニティーでよく議論し、導入しないという結論に落ち着くことが多いです。しかし、彼らはただ過去に執着しているわけではありません。たとえば、洗濯やあつかいが簡単な化学繊維は使いますし、冷蔵庫はガスでうごかします。病人がいる時や、遠距離で馬に負担がかかる時はタクシーも利用します。文明のすべてを否定するのではなく、

家庭や地域の絆を脅かす個人主義や自己顯示欲を助長するものは、利便性が高くても退け、清楚な生活スタイルを重んじて、モノの導入を考えるのです。「たとえ肉体労働が厳しくても、電気のない暮らしは不便でも、それはたいした事ではない」と私の出合ったアーミッシュの家族は言いました。「この世で大切なのはお金を儲けてモノにあふれて暮すことでも、なるべく楽をして好き勝手に暮すことでもないのだから。」彼らにとっては、生活のベースに宗教とコミュニティーがあります。自分たちの信条や社会や生活様式を利便性のためだけに変えてしまいたくはないという強い想いと、アーミッシュとしてのアイデンティティーからくる自信のようなものを、一緒に話していく感じました。



▲本屋さんの駐馬車場

アーミッシュ世界の不思議なところは、この昔式で不便な生活を続ける人々が増えているところです。アーミッシュは再洗礼派なので、成人になる時に自分でアーミッシュになるかどうかを選択します。その前の数年間（16-18歳くらい）、若者は宗教や社会的制約にとらわれず、いろいろな体験をすることが許され、一般アメリカ人のような生活を経験する人もいます。ところが、アーミッシュ研究所のあるエリザベスタウンカレッジの研究者によると、この許容期間が終わってアーミッシュの生活を選ぶ若者が、85%ほどなのだそうです。アーミッシュの家庭は5人以上子どもがいるのが普通ですので、人口はどんどん増えて、1900年頃まではたった500人ほどだったのが、

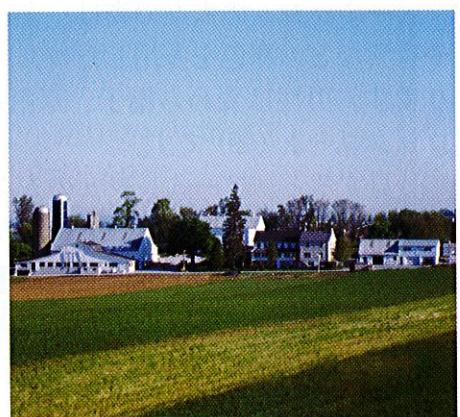
今では27万人以上に達し、アメリカの30以上の州に住むようになっているとの事でした。

アーミッシュの人々は初対面では大体シャイで寡黙です。それは彼らの母語がペンシルバニア・ダッチというスイス訛りのドイツ語のことばであるからかもしれません。アーミッシュの人々はカメラを持たず、写真にとられることも好みませんので、ランカスター郡を訪れてもカメラ片手にアーミッシュの人を追つたり、面識のない人にべらべら話しかけることはおすすめできません。彼らと自然にふれあいたい場合は、日曜日の朝早めに外を歩いてみて下さい。運がよければ、よそいきの服を着た若い女性同士、若い男性同士、家族、老人などのグループが、宗教的集会に行くのに会えるかもしれません。こちらもそれなりに清楚な格好をして静かに微笑むと、いつもよりすこし明るく晴れやかな表情の人々が、やさしく Good morning! と声をかけてくれるでしょう。

ペンシルバニア州はフィラデルフィアやピッツバーグが有名ですが、ランカスター郡に行くには、ペンシルバニア州の州都ハリスバーグ空港が便利です。この空港は、原発事故で有名なスリーマイル島発電所からすぐ近く（5-8キロほど）にあり、飛行機はしばしば発電所の真横を通って着陸します。電気を使わない人々が暮らす地域のそばに大きな事故をおこした原発がある——なんとも複雑な気持ちがしました。



▲今日は洗濯日

▲日曜日の集会があった農家と学校
(最右の建物)

新雪の医王山フォトギャラリー

杉橋 やよい（経済学経営学系）

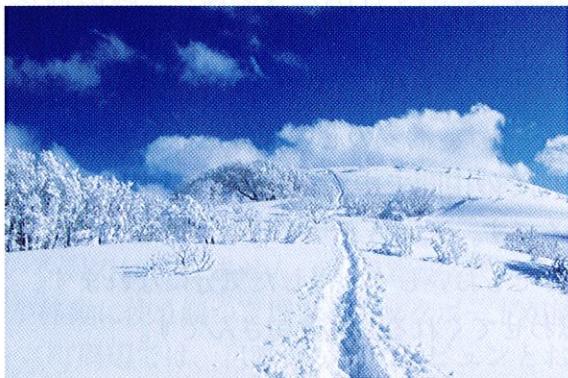


山登りを最後にしたのは小学校高学年ぐらいまで（ほとんど記憶が無い！）で、登山にはまったく興味を持たない私が、今年2月末に雪山（医王山付近の山）に登りはじめてから一気に雪山に魅了された。雪山は、当然ながら天候に大きく左右されるので、登っている時間帯と場所の違いで、景色や雪のコンディションが異なり、何度も行っても飽きず、五感で雪の様々な状態を楽しむことができた。我々人間が自然の中で生かされていることなどを同時に思ったりもした。また、エスコートをしてくださった方が、登山歴とスキー歴が長くベテランで、かつ私への指導は少なく基本的には「自由放任」だったことも、様々なことを経験させてもらうことにつながったと思う。これをきっかけに、私は夏山の登山やスキーにも興味を持ち始めるかと思ったが、この2つに依然として全く関心が無い……

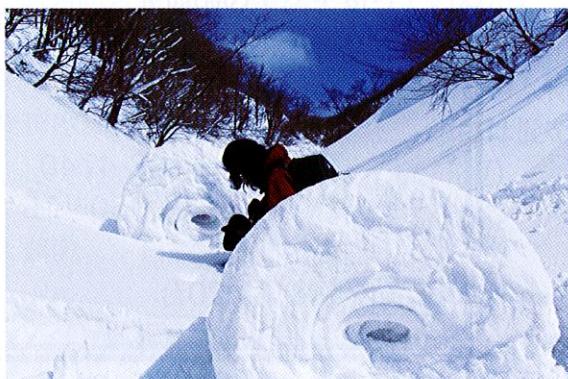
以下、雪山・医王山の写真を紹介する。少しでも涼しさをお届けできたら・・と思います。



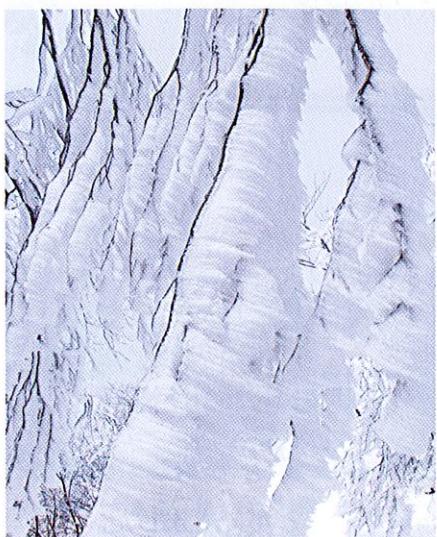
▲医王山に登る途中にあるカーブミラー。
積雪は約2m？



◀雪の一本道。前の人気が踏み固めてくださった道を歩くと、比較的楽。



◀雪まくり。自然が作る雪だるまのようなもの。この日は、高さ1m30cm以上の大きな雪まくりをたくさん見ました。



◀海老の尻尾・樹氷。風が吹く度に、ぶつかりあって、氷がぶつかるときれいな音がする。日差しで、木々が温まると、この海老の尻尾がどっさりと落ちる。地面に落ちたのはフカヒレのように見える。



ちょっといいは店

蕎麦処「上杉」
Y.N
(附属学校園支部)

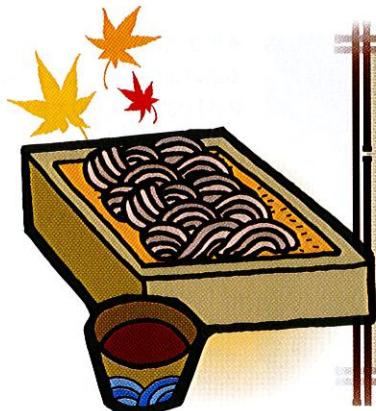
蕎麦と言えば、白山の方をイメージしますが、能登にもおいしい蕎麦屋さんがあります。能登有料の今浜インターを降りてすぐ。ちょっとわかりにくい場所にありますが、ところどころに案内版が出ていますよ。

外観は普通の民家。入口を入れると手前に囲炉裏がある板の間、その奥に二間続きの和室があり、テーブルがいくつか並んでいます。なんだか懐かしい田舎のおばあちゃんの家にでも遊びに来たかのような素朴な雰囲気です。

メニューは「玄蕎麦」、そして各限定 15 食の「御前蕎麦」と「生粉打石臼挽」です。それぞれ特徴があるので、3 種類食べてみました。

「玄蕎麦」は、蕎麦の実をほとんど削らず挽いているので、とても茶色で風味豊かな味わいです。それとは対照的に「御前蕎麦」は、蕎麦の芯の部分だけを使っているので、見た目はとても白くてきれいです。「生粉打石臼挽」はその中間です。それに、せいろ、おろし、とろろなどがありますが、私のお気に入りは天せいろです。天ぷらもサクッとおいしいですよ。また、最後に蕎麦粥と水ようかんが付いてきます。これもとてもおいしく、得した気分になれます。

「また、きたい」と思わせてくれるお蕎麦屋さんです。



★★蕎麦処「上杉」Data★★

住所：羽咋郡宝達志水町麦生ヌ68

TEL：0767-28-4740

営業時間：11：30～15：00（売り切れ次第終了）

定休日：火曜日 席数：テーブル42席

駐車場：20台

編集後記

『ゆにゆに』重陽～秋分号をお届けします。残暑に三服の清涼剤のような素敵なお原稿をお寄せくださいました、大藪さん、杉橋さん、Y.Nさん、ありがとうございました。皆様、ぜひご覧くださいね。

アーミッシュの人々の暮らし、新雪輝く医王山の風景、能登の美味しいお蕎麦屋さん。偶然の組み合わせですが、不思議と通底するものが感じられ、清々しい豊かさ、という言葉が浮かんできました。

皆様のご愛読おかげで、『ゆにゆに』担当のお役目を無事務めることができました。ありがとうございました！さいごに、星野さん、1年間おつかれさまでした。（K）